

島田市地域防災計画に 男女共同参画的視点

島田市防災会議（会長：島田市長）は平成26年度からの島田市地域防災計画に、前年度からの修正事項として「男女共同参画的視点」を多く取り入れました。災害予防、避難救出、災害応急対策、避難活動、避難所設置および震災復興計画等、あらゆる局面において女性や要配慮者（要援護者）の積極的な参画や視点・意見が活かされます。また、新たに女性委員2人が任命されています。

第21回県民スポーツ・レクリエーション祭 「誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの祭典」 5月25日 in ローズアリーナ



島田市レクリエーション協会による傘袋のロケット、新聞紙フリスビーをはじめ多くのイベントにたくさんの親子連れが参加しました。

8月は、 「家族と地域の 時間づくり推進月間」

家族と地域の時間づくり推進事業は、これまで10月の第2金曜日に市立小中学校や市内の幼稚園を休業日として4連休を創出して実施してきましたが、今年度は8月を「推進月間」として、家庭や事業所の状況や夏祭りなどの地域の行事に合わせた休暇取得の推進を図ります。



今年度は 「家事場のパパチカラ」

～男女共同参画週間キャッチフレーズ～



男女共同参画は男性にとっても重要な問題です。

男性も豊かな生活を送るために、長時間労働を減らして、家事・育児・介護・地域活動に関わりたいですね。

編集 後記

皆様こんにちは。まだまだ子どもたちに手が掛かるものの、友達に声をかけられ、このパレット編集に参加する事になりました。

島田で出会った人たちは、本当に寛大で穏やかな人ばかりですね。皆様に助けられ、どんなにうれしかったことか。その中で、一番力になってくれた人は、間違いなく夫でした。特に育児では本当に悩む事が多く、孤独との戦い。口数が少なく不器用な夫は、人に何かをアピールするのが苦手。でも仕事をこなし

ながら、子ども達の耳掃除や着替えの手伝いなどをしてくれました。

一緒に住んでいると、相手の欠点は見えやすいのですが、感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

編集：島田市男女共同参画啓発推進員／小澤康恵・杉本章子・園部真由美・高杉陽子・蛭田ひとみ
事務局：島田市市民安心課 TEL:36-7121 FAX:35-6000 E-mail:anshin@city.shimada.shizuoka.jp



島田市男女共同参画啓発学習紙



メニュー

P.1
事業所紹介
木村飲料株

P.2～3
特集
ワーク・ライフ・バランスを
経営戦略に!!

P.4
8月は「家族と地域の
時間づくり推進月間」ほか



2014年7月15日 発行

中小企業だけ
世界基準

飲みたい&楽しい飲料 を届けたい!!

木村飲料株式会社(島田市宮川町)

この30年で同業者が廃業する中、事業を続けてきた県内唯一の飲料水メーカー。



ユニークなアイデアや地元食材を活かした飲料水を開発し、海外向けも含めると製品はなんと200種類以上！
経営者の木村社長にインタビューしました。



木村飲料株式会社
代表取締役 木村英文さん

☆ 社員の力をスピーディーに結集

「地元密着の事業展開でしたが、ISO9001（※国際的品質管理システム）認証取得を重ねたことで、社長独断から社員自らが経営を考える体制に変わりました。自分たちが飲みたい飲料水を社員70人全員が携わり、発想から試作・製品化まで早ければ1ヵ月で作りあげています。機動力ある製品作りは社員総力戦の賜物。100人中2人が好きになるならそれでいい。大手に真似出来ない中小企業ならではの戦略があります。」

☆ 女性もシニアも活躍中

「我が社は女性社員で持っているようなもの。育児休暇を3回取得した女性社員もいます。補充のため新しく社員を雇いますが、育休復帰後には人員が増えてしまう。そんな時は新しい仕事を作り担当してもらいます。また、70歳代の従業員も働いています。こうやって積み上げてきたノウハウが引き継がれています。」

ライフステージに合わせ
自分らしく働ける
ワーク・ライフ・バランスの実現が
社内のパワーアップに
つながっているね!



ワーク・ライフ・バランスとは…誰もが、それぞれのライフステージに応じて、仕事・家庭生活・地域生活などさまざまな活動を自ら望むバランスで実現できる状態のこと。

7月30日(水)は「島田市男女共同参画の日」

明治9年7月30日、浜松県公選民会代議員選挙において、現在の島田市横岡・島などで、日本で初めて女性が投票しました。こうした歴史を踏まえ、「島田市男女共同参画推進条例」において7月30日を「男女共同参画の日」として定めております。今年度は7月30日(水)午前9時から島田市議場で「島田市女性議会」を開催するとともに、午後6時からJR島田駅前街頭活動を行います。



ワーク・ライフ・バランスを経営戦略に!!

— Shimadaイズムを発信していこう!! —

今回参加者の皆さんには、ワーク・ライフ・バランスの実践例や苦労話、中小企業だからこそできる戦略について、静岡県立大学犬塚教授をアドバイザーに迎え、活発に意見交換していただきました。

実践例 & 苦労話

(株)特種東海フォレスト

出産を機に退職ではなく、育児休暇を取得するよう促し、実現してもらいました。後に続く人の

ロールモデルにもなりますから。その間、欠員という問題点も浮上しましたが、派遣社員で補いました。

技術を持ったシニア世代に、ライフスタイルに沿った活躍の場を提供し、会社の人材を確保しました。

5月1日を創立記念日とするなど、会社独自の休暇をつくり、長期の連休を取得しやすくしました。建設現場をOA化した結果、現場での書類作成が可能となり、仕事の効率が上がり、残業が減りました。



(株)特種東海フォレスト 平田さん

(株)丸紅

「このとりカンパニー（静岡県次世代育成支援企業）」制度の利用や、地域貢献事業に進出し、雇用促進の助成金を活用しています。

若い社員の意識が変化してきました。「入園式や参観日など子どもの行事に出席したい」と申し出があれば、有給休暇を1時間単位でとれるようにする有給休暇制度を導入して、社員が気兼ねなく休みがとれるよう、フォローしています。

女性も仕事熱心で、管理職として活躍しています。中小企業はみんなの顔が見えるところがいいんです。



意見交換後の笑顔の皆さん

(株)カネス製茶

子育て中の女性社員については、保育園が近かったり、親御さんが近くに住んでいるなど、子育て環境は整っていると思います。

お茶の仕事で、季節や自然相手となります。繁忙期は厳しいけれども、夏場や年始などの時期にはまとめて長期休暇をとったり、新茶以外の時期に年間を通して催事をつくりだして、安定した収入が得られるよう工夫しています。

社員とのコミュニケーションを大切にしていることで、立場の違いやその人の特長など、従業員同志お互いの理解を深めていく取り組みをしています。



(株)カネス製茶 小松さん

参加者紹介

★男女共同参画のスペシャリスト

静岡県立大学国際関係学部

教授 犬塚 協太さん

★より良い自然の環境づくりをめざして

株式会社特種東海フォレスト 総務部

課長 平田 憲義さん

★子育てに優しい建設業

株式会社丸紅総務部

大石 富佐子さん

中森 貴道子さん

★お茶の楽しみ方を伝える笑顔配達人

株式会社カネス製茶

取締役 小松 直美さん



静岡県立大学 犬塚教授

三者の意見交換会から「お互いの会社間の交流を持ち、働く人が楽しく働きやすい環境を持つことが大事だね。」という意見が出ました。

中小企業だからできる！
これからの戦略は？

(株)特種東海フォレスト

男性社員も、育児休暇・介護休暇が取れる事を周知していく。新卒者を採用し、教育していきます。

単一の業務だけでは難しいので、多種の産業を組合わせて地域密着型の取り組みをしたい！

(株)丸紅

新卒者を定期的に採用していくことの大切さに気づきました。若い人材を育てるのは難しいことですが、他の企業との差別化をはかり、我が社の魅力を出していきたい。

育児休暇だけでなく、介護休暇も周知していきたい。

(株)カネス製茶

本日の皆さんの意見が参考になりました。時間単位の有給休暇や助成金などを利用していきたい。

育児休暇や介護休暇の周知を徹底し、やるからにはしっかり公言して実行していきたい。



(株)丸紅 大石さん・中森さん

犬塚教授の ココが ポイント

いち早く、ワーク・ライフ・バランスの実現を!!

リーマンショック・東日本大震災以来ますます産業の空洞化がすすみ、地域からの人口流出が深刻化している現在、地域の中でいかに若い世代が住みやすく、働き続けられる環境をつくっていくかが、最大の課題になってきました。

—ヒントは、地域密着型&他社との差別化—

大企業に依存するのではなく、中小企業だからこそできるきめ細やかさを備え、地域に密着した個性あふれる産業こそが、この島田市に必要なのです。

限られた時間の中で効率的に働けば、家族や自分の時間が確保でき、やる気も出て、生産性もアップする→優秀な人材はそんな会社にごそ集まります。

若い世代の定住が進めば、地域は活性化し、経済も好循環します。企業が率先してワーク・ライフ・バランスの体制づくりに真剣に取り組むことこそが、この時代を生き抜く必須戦略と考えます。